平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　株式会社 デジタルアドベンチャー　　上場取引所　東
コード番号　4772　URL　http://www.digiadv.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 矢島　重比古
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 大山　智子　TEL 03-6809-6118

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	2,026	△5.1	△295	―	△350	―	△283	―
24年12月期第2四半期	2,135	―	100	―	117	―	102	―

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　△334百万円　(―%)　24年12月期第2四半期　102百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	△5.22	―
24年12月期第2四半期	1.89	―

当社は、平成23年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成24年12月期第2四半期(1月～6月)と平成23年12月期第2四半期(4月～9月)とは対応する期間が異なるため、平成24年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	2,566	1,993	73.7	34.81
24年12月期	3,414	2,347	65.2	40.97

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　1,890百万円　24年12月期　2,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年12月期	―	0.00			
25年12月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,560	△26.6	△600	―	△650	―	△550	―	△10.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	54,392,638 株	24年12月期	54,392,638 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	78,876 株	24年12月期	78,876 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	54,313,762 株	24年12月期2Q	54,314,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信[添付資料]3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等による復興需要に加え、新政権による経済対策や金融政策を背景に円安、株価上昇による企業業績の回復傾向が表れてきております。一方、円安による物価上昇等の影響から個人消費の動きが鈍化し、欧米諸国の財政不安や新興国経済の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループはグループ事業再編により、当社はアーティストマネジメントを中心としたエンターテインメント事業に集中して取り組んでまいりましたが、当第２四半期には大型イベントがなかったこと、また前連結会計年度に購入した大型ドラマ版権の事業化が第３四半期にずれこんだこと等により、売上高は大きく伸ばすことができませんでした。

一方、利益面については、版権の償却負担を主な要因として原価が増加したことで売上総利益は伸び悩み、販売費及び一般管理費の削減には努めたものの、経費を吸収できず営業損失となっております。

また、デジタルコンテンツ配信事業において、変化する事業環境に子会社が柔軟に対応できる経営体制を構築するため、平成25年５月に連結子会社の株式会社アイロゴスおよび株式会社キントーンジャパンの全株式を、同年６月に株式会社ドラゴンコンテンツの全株式を譲渡しております。これにより特別損失として関係会社株式売却損58百万円を計上しております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は20億26百万円（前年同期比5.1％減）、営業損失２億95百万円（前年同期は営業利益１億円）、経常損失３億50百万円（前年同期は経常利益１億17百万円）、四半期純損失２億83百万円（前年同期は四半期純利益１億２百万円）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（デジタルコンテンツ配信事業）

デジタルコンテンツ配信事業は子会社に事業が集約されておりましたが、平成25年５月に連結子会社の株式会社アイロゴスおよび株式会社キントーンジャパンの全株式を、同年６月に株式会社ドラゴンコンテンツの全株式を譲渡しております。

この結果、売上高は２億19百万円（前年同期比43.2％減）、セグメント利益は７百万円（前年同期比85.0％減）となっております。

（物販事業）

所属アーティストの関連グッズやＣＤ販売は好調だったものの、大型イベントがなかったことによりイベントグッズの売上が少なかったこと、また前連結会計年度において連結子会社であった株式会社ザ・ネット・プランが持分法適用関連会社になったことに伴いセグメントから除外されたことにより、売上高は２億53百万円（前年同期比56.7％減）、セグメント利益は27百万円（前年同期比73.0％減）となっております。

（ライツ＆メディアコミュニケーション事業）

韓国アーティストキム・ヒョンジュンの３rdシングル「TONIGHT」の発売、韓国俳優キム・スヒョンの日本公式ファンクラブ創設に伴い記念イベントの開催、また前連結会計年度に始動しました新人育成プロジェクト第１弾として、日韓ハイブリッドアイドル「シャッフルオーディション」ファイナリストが「Welcome to the Shuffle!!/SHINE」を発売するなど、新規案件に積極的に取り組んでまいりました。自社テレビ局「ＤＡＴＶ」では、話題の大型ドラマ「Dr,JIN　日本版」の日本初放送を５月より開始しており、また７月からひかりＴＶでの番組提供が決定しております。しかしながら、前連結会計年度に購入した大型ドラマ版権のＤＶＤ等での事業化が第３四半期にずれこんだことなどにより、売上高は大きく伸ばすことができませんでした。

利益面では、版権の償却負担により原価が増加しており、この結果、売上高は15億52百万円（前年同期比64.2％増）、セグメント損失は３億29百万円（前年同期はセグメント損失32百万円）となっております。

（その他事業）

前連結会計年度において連結子会社であった株式会社ザ・ネット・プランが持分法適用関連会社になったことに伴い、セグメントから除外されたことにより、売上高は０百万円（前年同期比99.6％減）、セグメント損失は０百万円（前年同期はセグメント損失16百万円）となっております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産は、25億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ８億47百円減少しました。この主な要因は、前渡金が２億45百万円減少、および投資その他の資産のその他が６億34百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は、５億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億94百万円減少しました。この主な要因は、流動負債のその他が４億３百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は19億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億53百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金が２億83百万円減少、およびその他有価証券評価差額金が50百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、６億23百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、２億８百万円の資金の減少（前年同期は３億38百万円の減少）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失が２億78百万円、売上債権の減少が１億12百万円、前渡金の減少が２億45百万円およびその他の流動負債の減少が３億77百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、１億８百万円の資金の増加（前年同期は70百万円の減少）となりました。これは、主に貸付による支出が５億円および投資有価証券の償還による収入が５億89百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、86百万円の資金の減少（前年同期は１百万円の減少）となりました。これは、主に短期借入金の返済による支出が１億円および長期借入れによる収入が15百万円あったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

個別業績予想においては、前連結会計年度に購入した大型ドラマ版権のＤＶＤ等の事業化に伴う売上が、当初予想を下回る見込みであること、また秋以降に開催予定のイベントが翌期にずれ込む見込みであること等により、通期の業績予想を修正いたしました。

連結業績予想においても、個別業績予想における要因等により通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年８月６日）に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第２四半期連結累計期間において、株式会社アイロゴス、株式会社キントーンジャパンおよび株式会社ドラゴンコンテンツの全株式の譲渡を行ったことにより、連結子会社から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において８億42百万円、また当第２四半期連結累計期間において２億８百万円の営業キャッシュ・フローのマイナスが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。これは、大型ドラマコンテンツ版権の取得による前渡金の増加が主な要因であります。

当社は、当該状況を解消すべく版権のＤＶＤ等事業化を進めており、第１四半期連結累計期間に一部実現しております。当連結会計年度内に投資回収する予定であり、またＤＡＴＶの加入者増加による収益改善を見込んでいることなどから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

なお、文中における将来に関する事項は当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795,051	623,954
受取手形及び売掛金	386,258	180,655
コンテンツ	16,787	1,981
商品	25,124	1,710
仕掛コンテンツ	25,251	－
前渡金	1,236,354	990,773
短期貸付金	－	500,000
その他	30,135	16,315
貸倒引当金	△623	△575
流動資産合計	2,514,339	2,314,815
固定資産		
有形固定資産	20,768	16,107
無形固定資産		
のれん	32,631	13,396
その他	56,193	46,179
無形固定資産合計	88,825	59,575
投資その他の資産		
その他	902,599	268,041
貸倒引当金	△112,266	△91,877
投資その他の資産合計	790,333	176,164
固定資産合計	899,926	251,847
資産合計	3,414,265	2,566,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,886	386,872
短期借入金	100,000	－
その他の引当金	6,426	6,394
その他	581,868	178,394
流動負債合計	1,034,181	571,662
固定負債	32,728	1,212
負債合計	1,066,910	572,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△1,792,464	△2,076,253
自己株式	△32,387	△32,387
株主資本合計	2,174,640	1,890,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,335	－
その他の包括利益累計額合計	50,335	－
新株予約権	122,379	102,937
純資産合計	2,347,355	1,993,788
負債純資産合計	3,414,265	2,566,663

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,135,370	2,026,741
売上原価	1,577,702	2,006,357
売上総利益	557,668	20,384
販売費及び一般管理費		
給料	125,996	95,273
支払手数料	99,971	81,453
その他	231,662	138,929
販売費及び一般管理費合計	457,631	315,656
営業利益又は営業損失（△）	100,037	△295,272
営業外収益		
受取利息	1,382	7,677
為替差益	5,287	－
持分法による投資利益	9,783	－
貸倒引当金戻入額	－	4,400
その他	613	572
営業外収益合計	17,067	12,649
営業外費用		
支払利息	43	508
株式交付費償却	27	－
出資金運用損	－	15,790
持分法による投資損失	－	15,420
為替差損	－	36,055
その他	1	27
営業外費用合計	72	67,802
経常利益又は経常損失（△）	117,032	△350,425
特別利益		
投資有価証券償還益	－	103,941
新株予約権戻入益	933	26,675
特別利益合計	933	130,617
特別損失		
減損損失	4,626	－
関係会社株式売却損	－	58,493
特別退職金	5,478	－
その他	2,982	362
特別損失合計	13,088	58,855
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	104,877	△278,663
法人税、住民税及び事業税	3,935	5,125
法人税等調整額	△1,716	－
法人税等合計	2,219	5,125
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	102,658	△283,789
四半期純利益又は四半期純損失（△）	102,658	△283,789

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	102,658	△283,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	△50,335
その他の包括利益合計	－	△50,335
四半期包括利益	102,658	△334,125
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,658	△334,125
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	104,877	△278,663
減価償却費	25,630	13,412
減損損失	4,626	－
のれん償却額	11,223	11,223
新株予約権戻入益	△933	△26,675
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△693	△4,448
その他の引当金の増減額（△は減少）	1,440	△31
受取利息及び受取配当金	△1,382	△7,677
支払利息	43	508
関係会社株式売却損益（△は益）	－	58,493
為替差損益（△は益）	△5,287	△15,353
投資有価証券償還損益（△は益）	－	△103,941
出資金運用損益（△は益）	－	15,790
持分法による投資損益（△は益）	△9,783	15,420
売上債権の増減額（△は増加）	155,864	112,505
たな卸資産の増減額（△は増加）	△62,223	21,743
前渡金の増減額（△は増加）	△531,653	245,580
その他の流動資産の増減額（△は増加）	6,839	15,461
仕入債務の増減額（△は減少）	△12,338	87,218
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△43,622	△377,486
その他	1,480	11,318
小計	△355,893	△205,602
利息及び配当金の受取額	248	4,086
利息の支払額	△43	△752
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	17,086	△6,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	△338,601	△208,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	－	△500,000
貸付金の回収による収入	－	3,298
有形固定資産の取得による支出	△22,566	△651
無形固定資産の取得による支出	△12,950	△7,912
投資有価証券の償還による収入	－	589,740
出資金の回収による収入	－	2,928
関係会社株式の売却による収入	－	10,079
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	－	25,209
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△12,688
その他	△34,983	△1,643
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,501	108,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	－	△100,000
長期借入れによる収入	－	15,000
長期借入金の返済による支出	－	△625
リース債務の返済による支出	△643	△638
その他	△407	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,050	△86,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,287	15,353
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△404,865	△171,096

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
現金及び現金同等物の期首残高	1,509,321	795,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,104,455	623,954

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
前第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	デジタルコンテンツ配信	物販	ライツ＆メディアコミュニケーション	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	385,915	585,987	945,953	1,917,856	217,513	2,135,370
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	0	0
計	385,915	585,987	945,953	1,917,856	217,514	2,135,371
セグメント利益又は損失（△）	46,745	101,661	△32,806	115,600	△16,218	99,382

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

	合計
報告セグメント計	115,600
「その他」の区分の損失（△）	△16,218
セグメント間取引消去	654
四半期連結損益計算書の営業利益	100,037

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	デジタルコンテンツ配信	物販	ライツ＆メディアコミュニケーション	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	219,229	253,817	1,552,895	2,025,941	799	2,026,741
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	0	0
計	219,229	253,817	1,552,895	2,025,941	800	2,026,741
セグメント利益又は損失（△）	7,005	27,484	△329,795	△295,305	△54	△295,359

（注）１．当第２四半期連結会計期間において、「デジタルコンテンツ配信」に含まれていた株式会社アイロゴス、株式会社キントーンジャパン及び株式会社ドラゴンコンテンツの株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これによる資産の減少額につきましては、「（企業結合関係）２．実施した会計処理の概要(2)移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳」をご参照ください。

２．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

	合計
報告セグメント計	△295,305
「その他」の区分の損失（△）	△54
セグメント間取引消去	87
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△295,272

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

株式会社ドラゴンコンテンツの全株式を譲渡したことに伴い、当第２四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。これにより「デジタルコンテンツ配信」セグメントにおいて、のれんの額が8,011千円減少しております。